

15周年記念後立山リレー山行 盛大に実施される

北アルプス後立山山域で6パーティに分かれて、7/22~7/28に実施されたTTC15周年記念イベント「北アルプス後立山リレー登山」は、まずまずの天候に恵まれ、大きなアクシデントもなく、総勢28名の参加者を得て、各パーティとも予定通りのコースを踏破して無事終了することができた。



矢張りを済ませパンザイするTTCリレー山行パーティ(A, C, D)のメンバー。唐松岳頂上で

当初、7パーティ/34名のエントリーがあったが、実行段階でE2(五龍・鹿島槍テント泊)が無くなり、また、都合6名のキャンセルがあり、最終的に6パーティ/28名(参加率60%)のメンバーでの実施となりました。

A, B2, Cが早朝発のきつめの行程、B1, D, Eが前泊のゆったり行程となったこともあり、各パーティメンバーの平均年齢が、A, Cが50歳代、B2が40歳代、B1, D, Eが67~70歳代と参加者メンバーの年齢層が見事に分かれ、各パーティメンバーも2~7名とバランスよく分散した。梅雨は早々に明けたが、迷走する台風6号の影響を受け、実施期間中の天候は不安定で、朝は青空でも、午前10時を回るとガスが昇ってきて視界が利かなくなり、時折雨具のお世話になる天候で、とくに後半ほどその傾向が強かった。新人もベテランも北アルプスの大展望と岩稜の魅力を楽しみ、花々を愛で、TTCの絆の強さを再認識しあう素晴らしい体験ができたのではないのでしょうか。

山行実施結果報告

★奥秩父ナメラ沢(提案)★★★
7/17-7/18;1泊2日、マウント利用、天候:晴、参加3名。CL、SLスタッフ名削除。自炊ツェルト泊。

★後立山リレー登山(提案) 天候:晴後曇時々小雨

★Aパーティ(全山縦走)★★★
7/23-7/28;5泊6日、参加4名。往路ハイース/帰路公共利用。CL、SL/会計:、救護:スタッフ名削除。白馬から針ノ木までの後立山全山を予定通り踏破。Aさんは1日前にEパーティと柏原新道を下山。

★B1パーティ(白馬三山/3泊)★★★
7/22-7/25;3泊4日、マウント利用。参加4名。CL、SL、会計:。救護:スタッフ名削除。Gさん・Hさんキャンセルで4名に。平均年齢68歳超のシニアメンバー。

★B2パーティ(白馬三山/2泊) ★
★7/23-7/24;1泊2日、マウント利用、参加2名。CL、SLスタッフ名削除。

2泊予定のコースを1泊で走破下山。

★Cパーティ(白馬三山・不帰/険)★★★
7/23-7/25;2泊3日、往路ハイース/帰路公共。参加6名。CL、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。厳しい岩場の不帰ノ険を踏破。

★Dパーティ(八方尾根・五龍岳)★★★
7/23-7/26;3泊4日、マウント利用、参加5名。CL、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。平均年齢70歳超のシニアメンバー5名によるゆったり山行。

★Eパーティ(五龍・鹿島槍岳)★★★
7/23-7/27;4泊5日、マウント2台利用。参加7名。CL、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。平均年齢68歳のシニアパーティであったが厳しい岩稜帯を見事好タイムで踏破。

★谷川岳(定例)★★★8/20(土)日帰、マイクロバス利用。天候:雨、参加11名。CL、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。ガスの切れ間に展望あり。天神平からトマの耳頂上をピストン。

山の花、野の花

シナノキンバイ【信濃金梅】(キンポウゲ科キンバイ属の多年草)

北海道~中部山岳の高山帯の雪渓が溶けたあとの湿気のある草地に群生。背丈20~70cm。花期は7~8月。花は直径3~4cmの鮮やかな黄色、萼片は5~7個で、花卉のように見える。希に八重咲きもある。田中澄江の「新・花の百名山」には北ア笠ヶ岳の花として紹介されている。今回の後立山山行でも、白馬岳、八方尾根、遠見尾根、冷池付近に多く見られた。

近隣種のチマキンバイは大雪山系と知床にあり(夕張と日高山系に咲くのはチマキンバイ)、花は本種に似ているが、雄しべ・萼片とも多く、花卉の長さも違う。八重咲きのボタンキンバイ(キンポウゲ属)は利尻岳の固有種。また、白馬岳や尾瀬等のほぼ同じ場所に小振りの黄花を咲かせるミヤマキンポウゲ(キンポウゲ属)がある。チマキンバイ(バラ科)は別種。



シナノキンバイ



チマノキンバイ



ミヤマキンポウゲ

至近の山行予定

◇富士山(提案)★9/3-9/4; 1泊2日、マイカ2台利用(車提供:佐藤清、坂本)。申込9名。CL、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。

◇八ヶ岳赤岳・阿弥陀岳(提案)★★☆9/10-9/11; 1泊2日、ハイエス利用。申込7名。CL、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。

◇甲斐駒ヶ岳黒戸尾根(提案)★★★9/23(祭)-9/24(土); 1泊2日、マイカ利用/山小屋泊自炊。申込5名。CL、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。

◆南ア仙丈ヶ岳(定例)★★9/24-9/25; 1泊2日、ハイエス/乗合タクシー・路線バス利用。申込8名。CL、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。公共交通に変更する可能性有り。

◇御神楽岳(提案)★★10/1-10/2; 1泊2日、ハイエス利用、申込9名。CL、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。追加申込可。

◇奥鬼怒温泉郷・鬼怒沼湿原(提案)★☆10/15-16; 1泊2日、マイカバス利用。申込13名。CL、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。

◆三方分山・パノラマ台(定例)★☆10/29(土)日帰、マイカバス利用。申込締切:9月例会(9/17)。

山行計画差し替えのお知らせ
船形山(提案)★★10/15-10/16; 1泊2日、マイカバス利用。申込16名。CL、SL、会計:、救護:スタッフ7名削除。東日本大震災による宿泊予定先被災並びに林道崩落により「奥鬼怒温泉郷・鬼怒沼湿原」の代替案に差替え。

マイカ利用山行での 自損事故発生報告

マイカ利用山行「後立山リレ登山Eパーティ(五龍・鹿島槍岳)」において、帰途につく7/27、左前輪が側溝に脱輪するという自損事故が発生。[TTCマイカ利用山行車両利用規定](2003年制定)に基づいて事故処理することとし、再発防止策を含め、「ヒヤリハット報告書」としてメンバー全員に周知した。これを契機にマイカ利用山行のあり方について見直しを図り、リスクについて共通認識を新たにしたい。

安全登山豆知識

山の携帯電話事情・命を守る?

今回の後立山山域でのリレ登山では、パーティ間の定時連絡方法として、携帯電話メールを使うことにしたが、実際やってみるとほとんど役に立たなかった。事前調査では、docomoが北アルプスの主要なポイントに臨時アンテナを設置し、尾根筋であれば接続可能との感触を得ていた。しかし実際に試してみると、臨時アンテナが設置してある山小屋付近を除くと、長野県側の下界が望める後立山の稜線上からも、電波状態がわるくdocomoの携帯電話であってもなかなか繋がらなかった。auはさらに繋がらず、softbankに至ってはほとんど無力だった。

とは言え、北アルプス山域での山岳遭難事故の警察への救助要請の半数が携帯電話からという事実からして、携帯電話はいざというときに命を守る安全装備として必携品である。普段は電源を切って、防水パックに入れ、予備電池とともに携行して欲しい。

山に想う

石鎚山

#026 氏名削除

2011年6月4日(晴れ)、石鎚山登山に行つて来ました。明け方、瀬戸大橋を渡り、石鎚サービスイリアで、朝食を済ませてから、面河経由、石鎚スカイラインを通り土小屋の駐車場に着きました。駐車場では、子供連れの家族も多く居て、近くの森にハイキングに行く人たちもいました。登山口からなだらかな道を10分ほどで国民宿舎の上を通り過ぎると、遠くの山々が見えてきました。瓶が森もすっきりと見えてきました。咲き残りのミツバツツジを見ながら、若い登山者は駆けるように歩き追い越していきました。我々は整備された登山道をゆったりと気持ちよく歩く。

第1ベンチを過ぎて小さなピークの左肩に、天に向けて突き刺すように鋭い岩峰の石鎚山が見えてきました。(以前TTCで来

た時は、霧で見えなかった)登りと、なだらかな道を繰り返しながら歩いて、コナラやブナの大木が朝の日差しを受けて美しく緑色に輝いていました。第3ベンチを過ぎると、満開のミツバツツジとヤマシヤクヤクの群生があり白い清楚な花を咲かせていました。(ひととき疲れを忘れて感動・・・)その左側は、石鎚山の頂上まで切り立った絶壁で、落石注意の看板を見て気を引き締めて歩く。

やがて、二ノ鎖小屋に着き二ノ鎖の鳥居の下には、10人位の人達が鎖を登る順番を待っていました。(がんばって登ろう)と、自分に言い聞かせて登りました。

弥山の頂上は大勢の登山者が休んでいました。頂上には、インズチサクラが満開で、天狗岳の下の辺りは、アケボノツツジでピンク色に染められていました。西日本で一番高い山に立って360度景色を眺めての至福のひと時を過ごしました。

下山の途中では、ほら貝の音が聞こえて、信仰の山を感じながら下山して、土小屋登山口に降りました。今回は、梅雨入り宣言の翌日ではありましたが、晴天に恵まれて、大変ラッキーな山行でした。自分の家から四国までは遠かったけど、これからも、もう一度行ってみたい山等、体力の許す限り多くの山に登りたいと思います。

帰りは石鎚スカイラインを通り松山市に泊って松山城等見学して帰路につきました。

次回は(氏名削除)さんの登場です。

編集後記 2012年3月でTTC創立満15年を迎える今年、15周年記念行事として計画され大山集中登山(5月)と北ア後立山リレ山行が無事終了した。残すイベントは2012年3月発行予定の15周年記念誌「やまなみ No.3」の発行のみになった。メンバー全員の協力を得て、中身の濃い記念誌に仕上がるよう編集作業に取りかかりたい。

9月例会:9/17(土) 厚木市睦合南公民館1F/展示室。安全登山教室18:30-19:30、例会19:30-21:00、世話人会18:00-18:30。